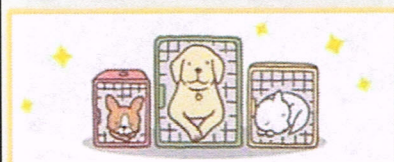


今回のセミナーが、避難所に避難されるペットと飼い主の方、及び避難所の運営側の皆様にとって より良いルール作りの参考になればと思います。

松原ペットクリニック 院長 岩富俊樹

## ペットの防災について②



東京都獣医師会世田谷支部  
松原ペットクリニック 岩富俊樹

## 自己紹介

1989年 酪農学園大学大学院  
修士課程修了  
獣医師免許取得

1992年 「松原ペットクリニック」開院  
世田谷獣医師会入会  
防災委員





ひと昔は・・・

ペットの防災と言っても  
**人命が優先なのは！？**



その通りです！  
でもペットは後回しでよいの？



### ペットの数と子供の数

2020年 犬848万9千頭 猫964万3千頭

計1813万頭

15歳未満の子供 1493万人

ペットのことを考えることは  
動物のことのみならず  
飼い主やその家族の人命を助ける  
ことに繋がります。



## 飼い主に求められること

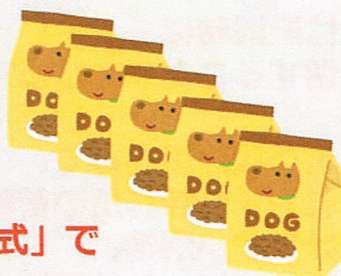
災害の発生時にペットを守れるのは、その飼い主であることから、ペットを守るためには、まずは飼い主が無事であることが必要となる。そのために、飼い主がペットの防災を考えることは、ペットだけではなく飼い主自身の災害対策を考えることに他ならない。飼い主が自らの安全を確保できるように備えることで、災害時にもペットを適切に飼養することが可能になる。



備えておく「もの」を考えてみよう！

- フードや水の  
買い置きはありますか？

常に一定量の  
備蓄をするため、  
1袋消費したら、  
すぐに1袋買い足す  
「ローリングストック方式」で  
備えましょう！



これがローリングストック方式！

備えておく「もの」を考えてみよう！

- 薬や療法食は不足していませんか？

それがないと命にかかわるもの、  
健康にかかわるものは  
不足しないように気をつけて！



ストックのチェックを忘れずに。



備えておく「もの」を考えてみよう！

- リードや首輪は用意できていますか？

犬は避難時に  
係留することもあります。

逸走事故対策として、  
壊れやすい装飾用の首輪や  
抜けやすい胴輪、  
伸縮性のリードは避けましょう。



NG!



伸縮性で係留に適していないリード

備えておく「もの」を考えてみよう！

- 避難に必要なキャリーバッグは  
ありますか？

キャリーバッグはネコの避難には必須です！  
ネコを複数頭飼っている方は、  
どうやって運ぶかも  
考えておきましょう。



## 備えておく「もの」を考えてみよう！

- 飼育用品は準備できていますか？

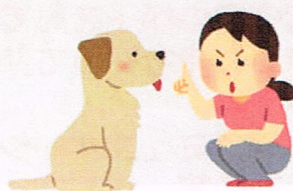
意外に忘れがちなのが排泄物処理袋。  
ケージなど重い物は  
後から持ち出しやすい所に  
保管しておきましょう。



## 備えておく「こと」を考えてみよう！

- ペットのしつけはできている？

犬の場合、大勢の人や動物がいても  
落ち着いていられるように育てておくことが、  
避難所への受け入れにつながります。  
人懐っこく育てることで、  
はぐれた時にも  
保護してもらいやすくなる  
メリットがあります。



備えておく「こと」を考えてみよう！

ペットのしつけはできている？

ハウストレーニングは、  
ケージなどに入る機会が多くなる  
災害時に役立つ  
「しつけ」の一つです。



備えておく「こと」を考えてみよう！

地域でのコミュニケーションは？



たとえば毎日のお散歩で顔を合わせる  
犬のお散歩仲間、集合住宅のペットの会、  
助け合える仲間がいることで、  
留守中の様子を見てもらったり、  
物資を持ち寄って共同飼育したり。

地域コミュニケーションは  
共助の第一歩です。





## 備えておく「こと」を考えてみよう！

### 迷子対策はできていますか？

万が一はぐれてしまったときに、  
再会できるよう、  
迷子札やマイクロチップを  
装着しておくことが、  
あなたとペットをつなぐ  
命綱になります。



もちろん鑑札もね！



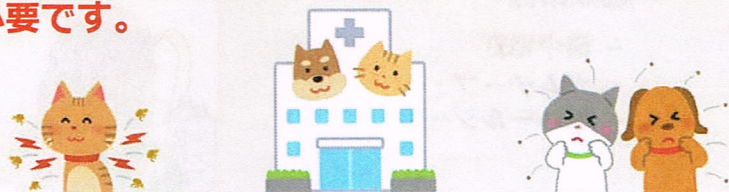
マイクロチップは  
外れたり  
なくなったりしない  
命綱だよ！

## 備えておく「こと」を考えてみよう！



### ペットの健康管理は万全ですか？

避難所には多くのペットが集まってきますし、  
ペットホテルなどに預ける際にも、  
狂犬病や混合ワクチンの接種やノミマダニ予防が  
必要です。



備えておく「こと」を考えてみよう！

日頃の健康管理は飼い主にしかできない  
災害対策の一つだと考えてください。



かかりつけの動物病院で  
定期的に健康診断をし、  
平常時の数値を知っておくことが、  
災害発生時の「異常」の  
早期発見につながります。

## 災害に備えておきたいもの



### ・生活用品

- 水、フード、ペットシート、排泄物処理袋  
(最低3～5日分)
- 薬、処方食（製品名も記録）
- リード（犬）、キャリーケース（小型犬、猫）

### ・避難用品

- 懐中電灯
- ガムテープ
- ビニールシート



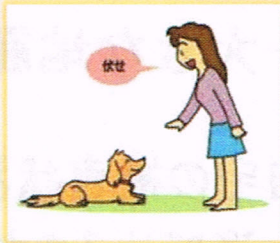
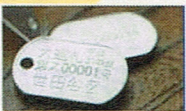
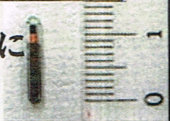

人の避難袋と同様にリュックに入れて準備



災害時にペットを守るために

## 災害に備えておきたいこと

- しつけ
  - ケージトレーニング
  - トイレトレーニング
  - 無駄吠えの防止
- 迷子対策
  - 犬の鑑札、狂犬病の済票番号
  - マイクロチップ
  - 写真
- 出来るだけ同行避難をしなくて済むように
  - 自宅の耐震化
  - ペットの預け先確保

Q、万一大きな地震が起きたら  
まず避難所へ避難しますか？



万一大きな地震が起きたら・・・

自宅の被害状況によって、自宅で  
 過ごせるのなら**自宅が原則**。  
 自宅では危険な場合は避難所を選択。



出来るなら自助(じじょ)



・自助(じじょ)とは

- 自宅が大丈夫だと判断できれば、  
**自宅で避難生活を送ること。**
- ペットにとっても住み慣れた環境が  
 一番ストレスがかからない。
- もちろん他の方に迷惑となることもない。
- 家屋の耐震性が求められる。

可能ならば自宅避難(自助)が最善となる。

